

平成27年度

全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします

小学生の活用する力、

順調な伸びを示す！

平成27年4月21日に「全国学力・学習状況調査」が行われました。

〔調査内容〕

- 小学校6年生、中学校3年生の全児童・生徒が対象
- 教科に関する調査は、国語、算数・数学、理科の3教科
- 国語、算数・数学に関する調査は、「知識」に関する問題A、「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力等)に関する問題Bを出題
- ※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- 差が5%未満の場合は「やや高い(低い)」、差が5%以上10%未満の場合は「高い(低い)」

この調査は、教科に関する調査と質問紙調査とで構成されています。児童・生徒の学力の全てを見ることのできるものではありませんが、町内の各学校では、この結果を一つの手がかりとして分析し、成果と課題を明らかにして、今後の教育活動に生かしていくようとしています。

また、大山町教育委員会で、学校の取組の進捗状況を把握しつつ、教科に関する調査と質問紙調査を総合的に分析するとともに、検討を行いながら、より質の高い教育の実現に向けて取り組んでいきます。

〔活用する力、

中学校で大きな伸び〕

○小学校6年生について、大山町の平均正答率は、国語A・B、理科ともに国・県より高

小学校6年生	平均正答率 (%)				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
大山町	77.4	74.1	78.0	49.8	67.4
鳥取県	71.5	66.8	74.6	45.2	60.1
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
全国との差	7.4	8.7	2.8	4.8	6.6

中学校3年生	平均正答率 (%)				
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
大山町	75.1	64.8	63.2	41.7	54.5
鳥取県	76.9	66.2	64.3	41.2	53.0
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
全国との差	-0.7	-1.0	-1.2	0.1	1.5

く、算数A・Bともに、国・県よりやや高くなっており、非常に良好な結果となっております。

特に、国・県の課題である「知識・技能等を活用する力」について、本町児童は非常に良好な結果です。

また、3年に一度実施している理科において、3年前に実施した結果(国と比較し1.5ポイント低い)と比較し、大きな伸びを見せています。

〔小・中連携を通して、

授業改革を〕

大山町では、小中学校の連携を進めながら、各学校の学力向上に力を入れています。

県の指定事業である「小中連携で取り組む授業改革ステップアップ事業」(名和小・名和中)や町独自の学力向上事業である「大山町小中連携学力向上推進事業」(大山西小・大山小・大山中、中山小・中山中)に取り組み、9年間を見通した児童・生徒の育ちと学びについて共通した取組等を進めています。

(表1)

	質問事項	肯定的な回答割合			
		全国	鳥取県	大山町	全国との差
小学校6年生	国語の勉強は好きですか	61.1	61.7	75.9	14.8
	算数の勉強は好きですか	66.6	60.9	72.1	5.5
	理科の勉強は好きですか	83.5	83.8	92.3	8.8
中学校3年生	国語の勉強は好きですか	60.5	59.2	71.9	11.4
	数学の勉強は好きですか	56.0	53.6	56.2	0.2
	理科の勉強は好きですか	61.9	62.7	65.7	3.8

また、町教育振興会が中心になり、町全体・各中学校区等で教職員研修会を実施しています。

(表1)からもわかるように、大山町は学習について前向きに取り組む児童・生徒も増え、国・県の肯定的回答率を上回っています。

これは、授業づくりにおいて、「自分で考える時間の確保」「友だちと学び合う場面の設定」「学習したことを振り返る時間の確保」等を大切にし、児童・生徒が「わかった」「できた」と感じることができると考えられます。